

「通いの場」通信



新型コロナウイルス感染症は、市内で実施されているサロン活動にも影響を与えました。開催の可否や開催する場合の配慮、内容等について、不安や悩みを抱えているサロン代表者も多い状況です。

前号Vol.20では、そんな新型コロナウイルス感染症に負けないサロン活動を応援するために、地区ごとに開催した「ふれあいサロン交流会」を特集しましたが、昨年12月に開催予定だった「船穂地区集いの場・通いの場交流会」だけは、市内の感染拡大の状況から開催を延期。「残念」との声が多数寄せられていました。

そのため、市内の感染者の状況を見ながら、感染症対策を徹底し、令和3年2月25日、ついに「船穂地区集いの場・通いの場交流会」を開催することができました！

1



皆に会えると
元気になる
わ～!

久しぶりに会えたことで
会話が弾みます!

2



作品展示

3



地域の手作り作品の
お持ち帰りコーナー

8

感染症対策を
するのは「みんなに
会いたい」から



マスク・フェイスシールドを
着用しての意見交換

船穂地区集いの場・通いの場交流会



4



市からふれあいサロン
助成金の情報提供

7



実践発表
(大舟尾サロン)

6



元組・鳥向(サロン)が独自に考案した
「サロン体操」を披露

5



講師派遣
やっています!

社会福祉事業団からの
介護予防事業のお知らせ

参加者の声



- ・マスク着用、消毒、検温に加えて、myスリッパ持参で感染症対策に取り組んでいます。
- ・アクリル板を設置して感染症対策をおこなっています。飲食ができなくなったのは残念だけど、サロンで食べていたお菓子はお土産として、各自で持ち帰って食べています。
- ・移動スーパーとくし丸や社会福祉事業団の介護予防事業の方に来てもらっているサロンがあると聞いてよかった。うちのサロンにも来てもらおう!

互近助パントリープロジェクト

協力者
大募集

互いに
近所で
助け合う

長引く

コロナ禍

自粛に伴う地域
交流と相談(雑談)
の場減少

複雑多様化した
困りごと・孤立

生活困窮者の急増

コロナ禍で深刻化している地域の困りごと。

それぞれのできることをつないでこの困難を乗り越えるための倉敷の挑戦が始まります。

互近助パントリープロジェクトは、一人ひとりの暮らしのすぐそばに**食材と生活雑貨**と
“優しいお節介さん”を配置する、新しい見守り・支え合いのしくみです。

地域のつながるで支え合う 互近助パントリーのながれ

1

食材・生活雑貨の 提供者を募集

- ・スーパーマーケット
- ・企業・商店街・農家
- ・個人・NPO等

互近助パントリーは様々な機関・団体・個人からいただく食材によって支えられています。

賞味期限が近いものや作りすぎたお野菜などをありがたくいただき、善意を地域におつなぎします。

集めています！

- ・お米・保存食品（缶詰・インスタント食品・レトルト食品）
- ・乾物（乾麺・のり・昆布等）・調味料・野菜類・お菓子・学用品
- ・その他生活雑貨等



食材・生活雑貨の 受け取り・保管

食材・生活雑貨の提供・ 補充・活動支援



社協が
つなぎます

3

相談・支援機関 との連携

- ・生活困窮者支援機関
- ・保健所
- ・教育機関
- ・母子機関等

パントリーを通して気づいた困りごとは支援機関と連携することでより早い対応と解決に向けた支援の入り口となっていきます。



相談・紹介・連携

2

互近助パントリー サポーターの募集

- ・社会福祉法人・地域活動団体・子育て拠点
- ・地域の見守り役
- ・地域の集会所等

身近な地域で、食材や生活雑貨を活用して、困りごとの支援や地域の交流活動を支援する「互近助パントリーサポーター」を募集します。

ご近所さんだからできる交流をとおした困りごとの発見と支え合いが期待されます。

求めています！

- ・身近な困りごと発見と相談
- ・地域の新しい支え合い活動として
- ・社会福祉法人や事業所等の公益活動として



食材や生活雑貨の提供希望・パントリーサポーターに関心がある等
お問い合わせは倉敷市社会福祉協議会地域福祉課まで ☎434-3301